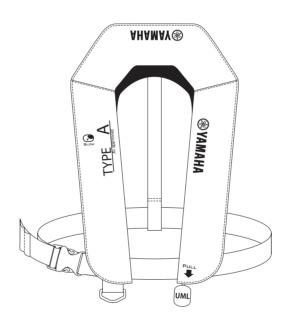
YMV-2300

国土交通省型式承認品 小型船舶用救命胴衣(膨脹式)TYPE A

Owner's Manual

(取扱説明書)



YMV-2300

手動膨脹式救命胴衣 MICRO MANUAL 手動充気装置 18g ボンベ使用

このたびは、当製品 [小型船舶用救命胴衣(膨脹式)]をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。もしもの落水時に膨脹式ライフジャケットが正常に機能するために、正しい知識、メンテナンスが必要です。

ご使用の前に必ずお読みください

2018.10

INDEX _{目次}

1. 安全上のご注意	2
2. 商品の概要と構造	3
3. 着用方法	3
4. 作動方法	4
5. ボンベキットの交換方法	4
6. 補助送気管による充気・排気	5
7. 自主点検	5
8. 保守点検	5
9. 気室の収納方法	6
10. 整備要綱	7
11. 保管方法	7
12. 製品の買換え・修理の目安	7
13. 救命胴衣について	8~9
14. 自主点検&メーカー点検チェックリスト	10
保証書	11

1. 安全上のご注意

本書に示した注意事項は、製品を正しく安全にご使用していただき、着用者や他の方々への危害を未然に 防止するためのものです。よくお読みになってこれらの注意事項を必ずお守りください。 本書では正しい取扱いに関する必要な事項を下記のシンボルマークで表示しております。

整告 取扱いを誤った場合、死亡または 電毎にいた スプダー 重傷にいたる可能性が想定される 場合を示しています。



▲注意 取扱いを誤った場合、重傷にいたる またけ 物が埋空って または、物的損害の発生が想定される 場合を示しています。

▲警告

- ・この製品は小型船舶用救命胴衣(膨脹式)です、小型船舶でご使用になる場合には、小型船舶安全 規則に従ってご使用ください。
- ・この製品は手動膨脹式です。手動用作動索を引く事でのみ作動します。落水時に自動で膨脹しません。 ・この製品は 12 歳未満の方は使用しないでください。12歳未満の方は小児用の小型船舶用救命胴衣をご 使用ください。
- ・ご使用前にボンベが緩んでいないか、又は使用済みでないか必ずご確認ください。 ・この製品が正常に機能するためには、所有者によるメンテナンスが必要です。 自主点検チェックリストを 確認のうえ、メンテナンスを実施してください。また、1年に1回、販売店を通じてサービスステーション 又はメーカーに定期的な点検を依頼してください。(有償)詳しくはメーカーにお問い合わせください。
- ・所有者以外が着用する場合は、所有者が本取扱説明書の内容について着用者に必ず説明してください。 一度膨脹させると、炭酸ガスボンベ内のガスが無くなります。この場合、最寄の販売店で当製品専用 のボンベキットを購入し、交換してからご使用ください。
- ・着用前に気室を傷つける恐れのある物(ブローチ・ペン・安全ピン等)は衣服から取り外してください。 気室を傷つけ使用できなくなる恐れがあります。
- ・使用前にバックルなどの部品が壊れていないか、ベルトや本体が破れていないか、縫製部がほつれて いないかを確認してください。破れやほつれが見つかった場合は、新しいものに交換してください。
- ・水中では気室を破損させる恐れのある浮遊物に近づかないでください。
- ・使用後は、気室内の空気を完全に抜いてください。気室に空気が残っていると再び膨脹させた時に空 気圧が高くなり気室が破損する恐れがあります。
- ・着用前,着用中は飲酒しないでください。
- この製品は火気に近づけないでください。
- ・この製品は絶対に改造しないでください。 小型船舶用救命胴衣としての機能を失う恐れがあり、 また国 土交通省型式承認品として認められなくなります。
- ・救命胴衣の着用によって水難事故や水中転落時の生存率が高くなりますが、生存を100%保証するも のではありません。 悪天候時、 又は悪天候が予想される時にはできるだけ早く寄港または上陸してくださ
- ・高所からの落下、継続的な衝撃は気室部分を損傷させる可能性が有ります。

そのような場合は14. 自主点検もしくはメーカー点検を実施してください。

▲注 意

- ・この製品を小型船舶用救命胴衣(膨脹式)以外の用途に使用しないでください。
- ご自身の体にぴったり合うように、ウエストベルトを調節してください。(着用方法参照)
- ・0℃以下の環境下では、膨脹時に気室の圧力が低くなるので、補助送気管から息を吹き込んでください。 ・ 気室は正しく収納してください。 吊り下げて保管してください。 小さく折り曲げたり、 上に物を置かない
- でください。 • 高温多湿の場所で保管しないでください。
- 燃料、オイル、溶剤、酸剤に近づけないでください。

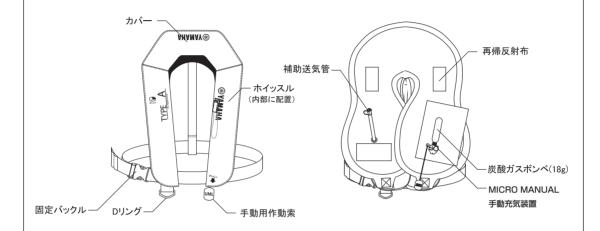
- 免責事項 -

この製品は、水難事故や水中転落時に着用者の安全を高める事を目的とし、国土交通省の定める小型 船舶用救命胴衣(膨脹式)の型式承認試験を受け、承認されたものです。 製造にも万全を期しておりま すが、製造上重大な過失がある場合を除き、本製品を使用した場合に起こった事故についての責任を負 うことはできません。予めご了承ください。

2. 商品の概要と構造

当製品、小型船舶用救命胴衣は、落水した時に手動用作動索を手動で引く事で膨脹し、水面上に頭部を浮 かせるものです。

- 気室が膨脹した時の浮力は、7.5kg 以上 /24 時間です。



3. 着用方法

▲警告 気室を破損させる恐れのあるもの(ブローチ・ボールペン・安全ピン等)は膨脹式救命胴衣を着用する前に衣服から取り外してください。

この製品は外衣として着用してください。着衣の下に着用しますと、膨脹時に胸や腹を圧迫して呼 吸ができなくなる恐れがあります。

この製品の推奨ウエストサイズは70cm~100cmです。体形に合わせて正しく着用してください。正 しく着用されていないと、安定した浮遊姿勢を得られない可能性があります。



①頭を通して左手 を通します。



②ベルトを回します。



③バックルを留めます。 ※カチッと音がなることを 確認してください。



④ 体にフィットするように ウエストベルトを 外側に引っ張ります

4. 作動方法

当製品は、手動膨脹により膨脹します。

•手動膨脹

救命胴衣の右側に出ている手動用作動索を強く引き膨脹させます。

▲警告 当製品は手動膨脹式救命胴衣です。手動用作動索を引き膨脹させないと、救命胴衣として機能しません。

炭酸ガスボンベによる膨脹 手動用作動索を下方向に強く引っ張ります

呼気による膨脹 補助送気管に吹き込みます

膨脹させた場合 6. 排気方法により空気を 抜くと救命胴衣が脱ぎ易くなります。

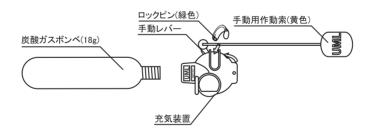
5. ボンベキットの交換方法 UML社MICRO MANUAL 手動充気装置

取り外し方

ステップ1:使用済みの炭酸ガスボンベを反時計回りに回し、取り外します。

UML社製 手動膨脹式充気装置 MICRO MANUAL

※ボンベキット交換の際には、(18UML MICRO)ボンベキットをお使いください。(別売)



組立方法

ステップ2:充気装置本体の汚れを拭き取り、内部まで完全に乾燥させてください。

ステップ3:手動レバーを元の位置に戻しロックピン(緑色)を取り付けます。

ステップ4:新しい炭酸ガスボンベを取り付けます。ボンベを確実に取り付けるため、最後に強く増し締めしてください。

6. 補助送気管による充気・排気

この装置は、気室の膨らみが十分でない時、気室に空気を補充するためのものです。 また、使用後に空気の排気をする時に使用します。

[充気方法]

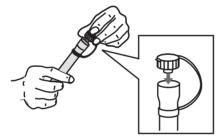
補助送気管のキャップを外し、送気口から空気を吹き込んでください。使用後はキャップを閉じてください。



▲注 意 炭酸ガスには透過性がありますので、気室の膨らみは僅かづつ減少します。膨らみが足りなくなった場合には補助送気管から空気を吹き込み、補充してください。

[排気方法]

補助送気管のキャップを外し、裏返して差し込んでください。排気後に吹き込み口内の逆止弁を軽く押してバ ネが動くことを確認してください。



①キャップを裏返し、差し込む



②排気後、吹き込み口内の逆止弁を軽く押 してバネが動くことを確認してください。

▲注 意 排気する時に、棒やペン等を差し込まないでください。送気管内の弁が破損する恐れがあります。 排気する時には必ずキャップの裏側を差し込み、排気してください。

▲警告 排気後に逆止弁が動かず、下がったままになってしまった場合には、使用を停止し販売店を通じて修理を依頼してください。そのまま使用を続けると、次に膨脹させた際に空気が漏れ、救命胴衣 として機能しなくなります。

7 自主点検

_____ 着用前に毎回必ずおこなってください。

項目と内容については自主点検チェックリストに基づいて実施してください。

8. 保守点検

いつでも完全に機能するようにしておくために、年に1回販売店を通じて定期点検を依頼してください。(有償)

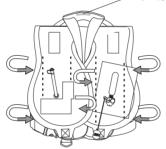
9. 気室の収納方法



① キャップを逆さまに差込み、気室の空気を抜きます。 気室と一緒に固定されている 縦ベルトをカバーの上に整理して置きその上に 空気を抜いた気室を置きます。



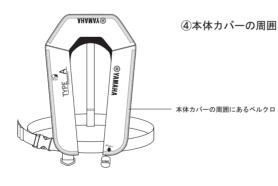
②上部の気室を山折り谷折りする。 ベルクロで仮止めする。



③※山折り線が左右2本入っていますが 線の1cm程内側で折り込むようにしてください。



※手動用作動策が カバーから出ずらい場合は インフレーター下部の気室を 山折り谷折りして手動用作動索が カバーの外に出るように 調整してください。



④本体カバーの周囲にあるベルクロを閉じて完成。

▲警告 最後にもう一度、手動用作動索が外に出ていることを確認してください。 手動用作動索が出ていないと、非常時に手動で膨脹させることができなくなります。

10. 整備要綱

小型船舶用救命胴衣(膨脹式)はあなたの命を守るお手伝いをする為にあります。 あなたの膨脹式救命胴衣がいつでも正確に機能し、良い状態であるために、正しく整備してください。

があり、重大な事故につながる可能性があります。

- ①気室が汚れた場合には、汚れている部分を湿らせた布等で軽くたたいて汚れを移しとってください。決して 洗濯機で洗ったり、漂白剤やシンナーで洗浄しないでください。
- ②陰干しして乾燥させてください。ストーブや焚き火にあてないでください。また、アイロンがけやドライヤーで の乾燥もしないでください。

11. 保管方法

▲ 警告 次のような場所や条件での保管は絶対にしないでください。製品の劣化を早めたり、救命胴衣として機能しなくなる恐れがあります。

- •直射日光の当たるところ
- ・ストーブやヒーターの近く
- ・気温または室温が40°C以上になる場所 無理に折りたたんでの保管
- 雨漏りするまたは多湿のところ
- 蒸気のあたるところ
- ・他の物の下敷きになるところ
- ネズミや虫にかじられる恐れのあるところ
- ■雨などで濡れたままでの保管
- ・寒暖差の激しい所

12 製品の買換え・修理の目安

▲注意 次のような状態が発生した場合には、製品を買換えるか、修理を依頼してください。

- 気室に傷が見つかったとき
- 充気装置が破損しているとき
- ・補助送気管が折れたり破損しているとき
- 気室が変色しているとき
- ベルトが破損しているとき
- カバーが破損しているとき
- バックルが破損しているとき



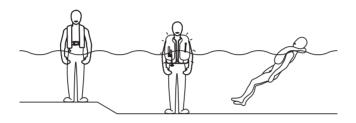
▲警告 改造は絶対にしないでください。特に気室を損傷させる恐れのある、ワッペンやピンオンリールの取り付けは避けてください。

13. 救命胴衣について

当製品は、国土交通省の型式承認を取得した、「小型船舶用救命胴衣(タイプA)」です。小型船舶の全ての航 行区域での使用が可能です。また、法定備品として認められます。小型船舶とは、総トン数20トン未満の船舶 の事をいいます。小型船舶の乗船中は、思わぬ転落事故に備え、あらかじめ救命胴衣を身に着けておくこと が大切です。小型船舶の船長は、乗船客に対して救命胴衣を着用させる義務や着用するよう努める事がもと められます。万が一の転落に備え、自動車のシートベルトのように、船舶に乗船すると同時に救命胴衣を着 用することが重要です。

救命胴衣のテストについて Γ 1

実際に1度は、足の着く浅くて穏やかな水中に入り、救命胴衣をテストしてみてください。



ボンベを使ったテスト方法

-) 1 ボンベ・ロックピンが正常に取り付けられた膨脹式救命胴衣と、お客様がお持ちの膨脹式救命胴衣 に適したボンベキットを用意してください。
- 2.膨脹式救命胴衣を正しく着用してください。
- 3 手動用作動索を強く引いてください。そして、5秒以内に膨脹することを確認してください。
- 4 膨脹させたら、底に足が着く、穏やかな水の中に入ってください。
- 5. 足を底から離し、リラックスした状態で浮いてみて、口が水面から出て、姿勢が後ろに傾くことを確認してく ださい。
- 6 テストが終わったら水から出て、次に使う時の為に、使用済みの炭酸ガスボン べを外し、補助送気管から完全に空気を抜いてください。
- 7.膨脹式救命胴衣・充気装置を完全に乾かし、4ページのボンベキットの交換方法に従ってボンベキットを 取り付けてください。

補助送気管を使ったテスト方法

- 1.膨脹式救命胴衣を正しく着用してください。
- 2.カバーを開き気室を取り出し、補助送気管から空気を吹き込み、膨脹させてください。
- 3.膨脹させたら、底に足が着く穏やかな水の中に入ってください。
- 4.足を底から離し、リラックスした状態で浮いてみて、口が水面から出て、姿勢が後ろに傾くことを確認してく ださい。
- 5.テストが終わったら水から出て、次に使う時の為に、補助送気管から完全に空気を抜いてください。
- 6 膨脹式救命胴衣・充気装置を完全に乾かし、4ページのボンベキットの交換方法に従ってボンベキットを 取り付けてください。

▲注 意 泳ぎの得意でない方がテストする場合には、必ず誰かがサポートし、必ず足が着く所でテストしてください。

低体温症について

- ・水温が20℃以下になると、水中では体温がどんどん低下していきます。これはハイポサーミアと呼ばれています。体温が低くなり過ぎると意識がなくなり溺れてしまいます。
- ・水中では空気中より25倍も早く体温が下がります。水温・身体の大きさ・脂肪の量、及び、水中での動きに生存と関わり合いがあります。
- ・水中で身体を動かすことは体温の低下を非常に促進しますので、近くに助ける人がいない限り、動いてはいけません。又、頭部は放熱の速度が速いので出来るだけ、水に浸からないようにすることです。水の中から身体を出せば出す程、放熱量は下がり、生存の可能性は高くなります。
- ・足を揃えたり、同時に浮いている人が近くにいれば、一緒に肩を組んだりして暖め合うことが生存につながります。



低体温症(ハイポサーミア)による大人の平均生存時間

水温	疲労又は 意識不明	水中での 生存可能時間		
0°C	15 分以下	15 分~ 45 分		
0°C∼ 5°C	15分~30分	30分~90分		
5°C∼ 10°C	30分~60分	1時間~3時間		
10°C∼ 15°C	1時間~2時間	1時間~6時間		
15°C∼ 20°C	2時間~7時間	2 時間~ 40 時間		
20°C∼ 25°C	2時間~ 12時間	3時間~体力が続く限り		
25℃以上	体力が続く限り	体力が続く限り		

14. 自主点検&メーカー点検チェックリスト

必ず下表の点検チェックリストで点検してから製品をご使用ください。

部位	点検項目	内 容	自 主点 検	メ ー カー 点 検		
カバー	目視検査	生地・縫製部等に損傷・劣化等無き事				
ベルト	目視検査	生地・縫製部に損傷・劣化等無き事				
バックル	目視検査	損傷・劣化等無き事				
気室生地	目視検査	溶着剥れ・損傷・劣化等無き事	半年 1 回			
双至生地	漏洩試験	補助送気管より口で気室を完全に 膨らませて24時間放置し、 空気が抜けていない事	半年 1 回			
		手動用作動索が正しい位置にある事				
		手動用作動索が損傷してない事				
	目視検査	ロックピンが付いている事				
		撃針先端の損傷・磨耗等無き事				
充気装置		締め付けナットが緩んでいない事				
		ボンベ取り付け部、内部のOリングに 劣化、損傷、紛失がない事	ボンベ 交換時			
		作動索を引くと撃針が機能する事				
4 4 1 -	目視検査	ボンベの封板に穴が開いていない事				
│ 炭酸ガス ボンベ		ボンベの取り付けに緩み無き事				
		錆∙損傷等無き事				
	目視検査	劣化・損傷・ひび割れ・緩み等無き事				
		キャップが取り付けられている事				
補助送気管	機能検査	口で送気して正常に作動する事。 (点検後は必ず気室内の空気を抜く事)				
		逆止弁が正常に作動する事				
ホイッスル	機能検査	音が出て、紐で固定されている事				
再帰反射材	目視検査	剥れ・劣化等無き事				
	毎回	年1回				

持込修理

保証書

[保証規定]

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、下記記載内容で無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理などについて、ご不明の場合は、販売店にお問い合わせ下さい。保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、本記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、製品と本書をお持ちいただきお買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

- 1. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
- (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ)お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ)火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、害などによる故障または損傷。
- (二)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (ホ)ボンベ等の消耗品は有料修理となります。
- 2. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 3. この製品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

品番	:		YΜ\	/IV-2300						
保証	期間	お買	[い上げ日	_{から} 1年間]	※ お買い上げ日	年	月		日
*	ご信	主所								
お 客 様	お名	 3前 							様	
	電	話	()		-				
*	住用	沂•氏:	名							
販										
売										
店										
	電	話	()		_				

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

製造元: 高階救命器具株式会社 〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-1-30 Tal. 06-6568-3512 FAX. 06-6568-7528